

「新書」を読んでみよう

定時制 3年
国語表現「新書に親しむ」
読書指導

ねらい

- 就職・進学を控えた生徒が広い視野と教養を身に着けることができるよう、読書に親しむ準備ができる。
- 新書の特徴を理解し、内容に基づき、自分の考えを表現できる。

学 習 展 開

- ① 教科担当教諭から、長期休業中に読書に親しむよう案内する。また、その際、「新書」を1冊選ぶよう伝える。
- ② 学校司書が新書の特徴を説明し、数冊内容紹介を行う。
- ③ 教科担当教諭が、選んだ本の要旨や感想を記入するワークシートを配布し、記入の仕方を説明する。
- ④ 生徒が図書館内で本を選ぶ。
選び終えた生徒は本を読み始める。
- ⑤ 貸出手続きを行う。



本を選ぶ様子



ジュニア向け新書を展示

◆司書教諭と学校司書の関わり

- 司書教諭(または図書館担当教諭)は機会をとりえて図書館と教科の連携について校内に周知する。
- 教科担当教諭と学校司書は担当教員と相談し、ガイダンスの内容や必要な資料について打ち合わせを行い、準備を行う。
- 学校司書は T2 として生徒の活動を支援する。

★指導のポイント

- ◆ ジュニア向け新書や絵図が多い新書も十分に取り揃える、面を見せて展示するなど生徒が選びやすい環境を整える。
- ◆ 生徒の求めに応じ、または様子を見ながら興味・関心に応じて必要な資料を案内する。

資料

・各出版社の新書
(展示や導入では新書岩波ジュニア新書、ちくまプリマー新書、サイエンス・アイ新書を中心に紹介した)